

【様式】

平成30年度 学校マネジメントシート

学校名 (いなべ総合学園高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		自主自律のもと「生徒一人一人の能力の伸長」と「教職員の達成感」を常に追い求め、地域の人々に信頼される学校を目指します。
(2)	育みたい 児童生徒像	○自己管理ができ、進路実現に向け主体的に学習や部活等、教育活動に取り組んでいます。 ○人間関係力やコミュニケーション能力があり、チームとして活動ができます。 ○地域社会に興味関心を持ち、主体的に社会貢献に取り組んでいます。
	ありたい 教職員像	○言葉だけでなく、自らの姿（行動）からも教え育てます「率先垂範」。 ○仕事にやりがいを感じ、生徒の成長を自らの喜びとします。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	〈生徒〉 進路実現に向け、充実した高校生活。 〈保護者〉 安全・安心で師弟同行が感じられる充実した学習環境。 〈地域〉 学校の専門知識や施設の提供による地域の活性化。	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	〈家庭〉 連携・協力するにあたって、学校の現状や課題の共有。 〈中学校〉 高校生活や進路状況等、情報の提供。 〈地域〉 地域の活性化のための若い力の提供。	〈家庭〉 本校教育方針への理解と協力、共に育てるための信頼と連携。 〈中学校〉 効果的な指導をするための生徒の情報共有。 〈地域〉 本校教育活動への理解、共に育てるための信頼と連携。
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職とも良い結果が出ている。卒業後、地域に貢献できる人材育成に努めてほしい。 ・生徒自身の夢をかなえるため、早期の進路決定に向けた指導に努めてほしい。 ・大学の一般入試に対応する学力をつけるため、引き続き課外授業を充実させ、家庭での学習習慣を確立できるよう授業や課題を工夫してほしい。 ・保護者と教職員の連携はよく取れている。生徒の声を反映させるため、保護者と生徒会の連携を取るようにし、三者が一体となり活動ができるよう努めてほしい。 ・教職員の総勤務時間を縮減に努め、職場の充実した協働体制を確立してほしい。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<p>○学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上を図るため、学習習慣の確立や学習意欲の向上に向けた取組が必要です。年次と教科が連携し宿題や課題を積極的に課す等の取組が進められていますが、家庭での学習時間は個人個人の差が大きいのが現状です。今後も尚一層、学習意欲を増すような魅力ある授業づくりに取り組みます。 <p>○進路指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と年次の連携のもと進学・就職ともに好成績を上げています。これは特に、キャリア教育の取組や課外授業の成果によるものであり、今後も更なる充実を図ります。 <p>○生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行、登校指導等による安全教育が生徒に浸透してきています。生徒会とも連携し、自発的に規範意識を高めていける雰囲気づくりに取り組みます。 <p>○保健管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別をはじめ、集会等を通して、生徒に環境美化の啓発活動に努めます。
	学校運営等	<p>○開かれた学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページなどを通じて、本校の魅力等、最新の情報を十分提供できるよう今後も引き続き取り組みます。 ・台風や大雪などの緊急連絡について通知の遅れがあったことから、周知徹底をより図るため、できるだけ早い段階で判断し通知するよう努めます。 <p>○学校経営改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の安心・安全を第一に、職員、生徒とも危機管理の意識を高めます。 ・教員が心にゆとりを持つことにより、生徒の細かなところまで目が行き届くよう、総勤務時間の縮減に向けて努めます。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立や学習意欲の向上に向け、引き続き、生徒の興味関心を引き出す魅力ある授業づくりに積極的に取り組んでいきます。 ・基本的な生活習慣や規範意識（美化意識）の確立など社会性の育成に向け、生徒会を中心に保護者や地域と連携し、生徒自身が自発的に意識を高めていく雰囲気づくりに取り組んでいきます。 ・進路保障の充実に向け、キャリア教育や課外授業等において、成果を見据えた取組をしていきます。 ・命を大切に、生きぬく力の育成に向け、人権教育や危機管理教育等、意識の向上に繋がる取組を積極的に行います。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の最新情報等をホームページなど様々な角度から情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を積極的に行います。 ・教育課題等について職員全員と共有し、その課題解決に向け、現職教育（校内研修）の充実など積極的に取り組んでいきます。 ・総勤務時間の縮減に向け、会議時間の縮減など、具体的に取り組んでいきます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの学力の伸長を図ります。上位層・下位層の引き上げを重点的に行う方法を研究します。 ・授業の創意工夫と改善に努め、きめ細かい授業展開を推進します。家庭学習の強化など教職員間の情報共有を図り、生徒のよりよい進路希望実現に向けて授業改善に努めます。 ・学習環境の整備に努め、集中して授業に取り組める環境美化と雰囲気づくりに取り組みます。また、生徒の学習意欲の向上を図ります。 ・学習習慣の確立に努め、予習・復習を習慣化し、提出物の徹底と期限を守れるよう指導します。 ・生徒の早期進路決定の実現に向けて、きめ細かい指導を行います。 ・「産業社会と人間」や「IVY タイム(総合的学習時間)」におけるキャリア教育を通して進路希望の実現を図ります。 ・就職・専門学校希望者に対して「サクセス」の取り組みの徹底を図り、学力の向上を目指します。 ・大学の一般入試に対応できる学力をつけるために、予習復習を確立させ、生徒の興味関心を引き出す魅力ある授業作りに取り組みます。 ・いなべ特進塾と夏季課外の充実を図り、冬季特編授業時の課外へとつなげていきます。 ・小論文対策、就職試験対策、推薦対策、一般入試問題対策を年次進路係と連携して実施します。3年次特編授業時には、一般入試受験者に特別授業を実施します。 ・大学受験に向けての進学希望者集団の維持・拡大を図ります。 	(年度末および適宜記載)	◎
○進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンスや保護者説明会、三者懇談会を通して、生徒・保護者との相互理解を図り、生徒の進路実現に向けた協力体制を構築します。 ・進路指導部と各年次の連携を図りながら、計画的な進路指導を行います。 ・生徒の進路実現のために定期的に個人面談を実施し、生徒の現状把握に努めるとともに、早期進路決定が出来るように指導します。 ・主に面談を通じて、進路希望・能力に応じた幅広い丁寧な進路指導に努めます。 		◎

	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな指導により、生徒の進路実現につながる科目選択・登録ができるように指導します。 ・IVYタイムの授業を効果的に活用し、進路意識を高め、かつ、地域に貢献できる人材育成に取り組みます。 ・国公立大学入学者を複数名出すと共に、新制入試に対応した校内の体制を整えるよう各教科に働きかけていきます。 ・就職希望者に対して、昨年度と同様に早い時期での100%内定を目指します。 		
○生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にする教育に努め、他人を思いやる心を育みます。 ・いじめは絶対に許さない姿勢を貫き、未然防止に努めます。 ・生徒、教員、保護者、地域住民の四者が良好な関係を築き、問題の早期発見、迅速な対応に努めます。 ・基本的な生活習慣の確立に努め、「自主自律」の意識を高めるよう指導します(挨拶の励行、5分前集合、学校への連絡、適切な服装など)。 ・「時を守り(時間・期日厳守)場を清め(整理整頓・美化活動)礼を正す(礼儀礼節・他者尊重)」の3原則を常に意識して行動できるよう指導します。 ・挨拶の励行を続けていきます。 ・集会での講話、通信発行、日常の指導により、学校や社会のルールを遵守させることで規範意識を向上させ、安心・安全な学校環境づくりを目指します。 ・学校生活の様子・問題行動などについて、保護者と教員・教員間での情報共有に努め、連携を密に取りながら指導します。 ・各年次・人権教育推進委委員会・特別支援委員会・教育相談係との連携・協力体制を強化します。 ・面談やHR活動で生徒とのコミュニケーションを心がけ、生徒理解に努めます。また、生徒への細やかな対応を適切に行います。 ・貴重品など持ち物の管理、自分の目標に合わせた予定・計画の管理、交通ルールや通学中のマナーを守るなど自己管理ができるよう指導します。 ・学校生活調査やいじめアンケート等を通じて情報を収集し、その分析と対応を適切に行います。 ・生徒会(特別活動部)との連携を強化し、よりよい学校づくりを目指します。 ・生徒会の自発的な活動を促し、代議員会や各種委員会と協力しながら、特別活動の充実を図ります。 <p>【活動指標】 生徒会役員と代議員で自由に意見を出し合う会議を2回実施</p> <p>【成果指標】各学校行事の満足度アンケート、満足と答えた生徒 80%</p>		◎ ◎
○保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保健環境委員会活動を通じて環境美化の活性化を図ります。 		◎

	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保健通信を発行し、健康を守るための知識を指導します。 ・保健環境委員会活動を通じて、心身の健康に関する知識、関心を高めます。 ・生徒がいつも安心して来室でき、心身ともに休むことのできる保健室を目指します。 ・心に悩みのある生徒を教育相談につなぎ、広くカウンセリング室の利用を図ります。 ・学年やチューターと協力して、ゴミの分別への啓発活動を行い、その習慣を身につけるよう指導します。 ・日常の積極的な清掃活動の推進を図り、校内美化に取り組みます。 		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校への理解と信頼を深めるため、保護者や地域に向けて、本校の魅力等、最新の情報を十分提供できるよう積極的な情報発信に努めます。 ・台風や大雪などの緊急連絡について、できるだけ早い段階で判断し通知するよう努めます。 ・ホームページ、学校案内、ポスター、IVY 通信の内容を充実させて活用します。 ・絆ネットを活用して、保護者に学校行事予定や緊急連絡を発信し、情報を公開します。 ・学校説明会(10月)の充実を図ります。 ・学年通信を定期的に発行し、学校の様子を保護者に伝えます。 ・三者懇談会で、保護者に丁寧に分かりやすく学校の様子を伝えます。 ・進路別保護者会などでは分かりやすく伝え、保護者のニーズに合った情報を提供します。積極的に保護者とコミュニケーションを取り、生徒、教員、保護者の三者が一体となれるよう、連携の強化に努めます。 	(年度末および適宜記載)	◎
○学校経営改革	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な危機に対応できる体制の強化に努め、安心・安全な学校づくりに努めます。 		◎

	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が、学校に関わる全ての人々により一層信頼を得るため、言動に注意し、職務に励み、説明責任が果たせるように努めます。 ・総勤務時間の縮減に向け、会議時間の縮減など、具体的に取り組んでいきます。 <ul style="list-style-type: none"> ① 定時退校日を月に1日 ② 部活動休養日を週に1日 ③ 放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合を80% ④ 時間外労働時間 3時間/月削減（1人あたり） ⑤ 休暇取得日数 2日/年増加（1人あたり） ⑥ 月80時間を超える時間外労働者を延べ人数 20人削減 ・教育課題等について職員全員と共有し、その課題解決に向け、現職教育（校内研修）の充実など積極的に取り組んでいきます。 ・教職員同士、各年次や各分掌に関わらずお互いの連携を密にし、学校行事が速やかにかつ円滑に行えるよう努めます。 ・校内ネットワークの管理に努め、統一システムを運用します。 ・現状にあっていない内規の改訂、分掌内での引継ぎ資料の作成を適切に行います。 ・各部屋、各倉庫の備品消耗品の管理の徹底を行います。 【活動指標】年度末に各倉庫の消耗品等の個数チェックを1度行います。 【成果指標】備品消耗品の紛失をゼロにします。 		◎ ◎
--	---	--	------------

改善課題

(年度末に記載)

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
----------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)